

未来に羽ばたく6年生、本校にようこそシーラちゃん

未来に向かって羽ばたく

厳粛な雰囲気と温かく大きな感動の中で、今年度の西大路小学校の卒業証書授与式を行うことができました。3月19日（金）の当日は、多くのご来賓の皆様や保護者の方々をお迎えし、9名の卒業生の門出をお祝いすることができました。式の中では、一人ひとりが少し緊張しながらも堂々と卒業証書を受け取り、中学校生活やこれからの将来に向けて決意を表明しました。勉強のこと、部活動のこと、現時点で自分が描く将来像を、自分の言葉で語りました。その姿が、西大路小学校での6年間の成長の証そのものでした。



卒業式の式辞の中で、宮沢章二さんの『行為の意味』を引用させていただきました。今年、東日本大震災から10年、震災当時ACジャパンのCMとして流れていた詩です。子ども達に自分の中に秘めた心や思いを「心づかい」や「思いやり」という形に表現することによって、その心や思いを伝えることの大切さを話しました。これからの未来を生きていく子ども達に、自分自身を伝えることによって、世界を広げ、人間関係を形成して欲しいと願っています。



子ども達は、最後に在校生と別れの言葉を交わし、本校を巣立ちました。ぜひ、健康に留意し、今後の大きな成長と活躍されることを祈念しています。

卒業式に先立って3月3日（水）5校時、「平和と友情の人形歓迎式典」を開催しました。昨年朝陽同

窓会主催の「青い目の人形」の観劇をもとに、人権学習や平和学習に関連した学習を行い、ギューリック三世様に子ども達が手紙を送ったところ、子ども達の願いが通じて人形を頂くこととなりました。その式典において、人形を披露し、台座に置かれた人形ケースに納めました。式場には地域の方からご協力頂いた雛人形が飾られ、式典に花を添えました。人形の名前は「シーラちゃん」です。西大路の穏やかな雰囲気を想像して名づけてくださいました。本校はこの人形を玄関正面に展示し、学校の宝としていつまでも大切にしていきたいと思っています。本校にお越しの際は、ご覧いただければ幸いです。



1年間ありがとうございました。 多くの成長が見られました。

明日より春休みです。コロナ禍ではありましたが、今年度一年間、子ども達に大きな事故や怪我、病気がなく終えることができることに感謝しております。

さて、全校児童80名で学んだ令和2年度の西大路小学校でしたが、多くの場面で子ども達の大きな成長を見ることができました。コロナの影響で教育活動が変わることが多々ありましたが、各学年の特徴的な学びにより、成長の足跡を残してくれました。大きな収穫であったと思います。



また、保護者、地域の皆様には温かく本校の教育活動を見守って頂き、ありがとうございました。コロナ禍の中で、オンライン学習など新たな学びを推奨しながら、次年度の教育活動を進めていきたいと思っています。今後も本校教育に対し、ご理解とご協力賜りますようお願いいたします。〈文責：校長 正野新造〉